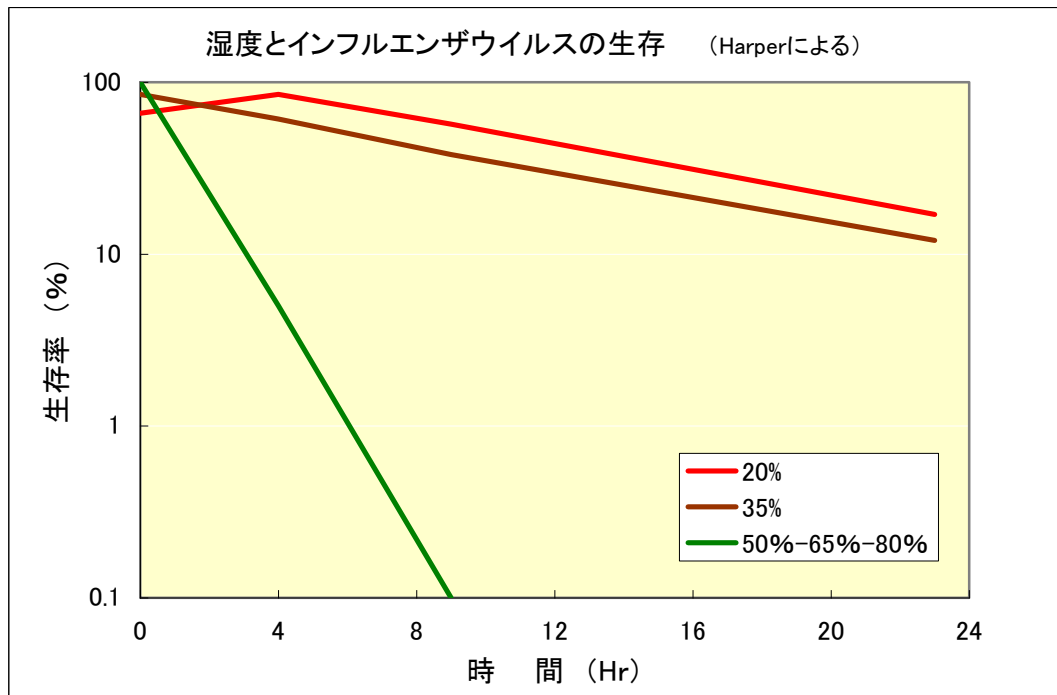


インフルエンザウイルス『乾燥するほど活性力増大』

環境・健康

冬の風邪の代表格である流行性感冒の病原であるインフルエンザウイルスは、湿度が低い（乾燥する）ほど活性力が増加します（下記図）。また、インフルエンザ流行時（1月）の外来患者数は湿度が上昇すると減少し、湿度が低下すると増加する傾向がみられるとの報告（東京都大田区M医院、1990）があります。

インフルエンザが流行する季節では、職場や家庭で乾燥し過ぎないことが大切であり、室内の相対湿度を50%以上にすることによって、インフルエンザの感染予防効果が期待できます。



kes サポート

目的	課題	kesサポート
把握	職場巡視、衛生診断	労働衛生コンサルティング
	事務所等の作業環境の状況	作業環境測定
	供給空気の清浄度	供給空気の清浄度測定
	作業環境関連設備の性能	作業環境関連設備の性能検査
改善	事務所等の作業環境の改善	作業環境関連設備の改善、設置
教育	労働衛生意識の向上	労働衛生教育